

市政を問う

代表質問

3月定例会における「市長施政方針」に対し、2月28日に4会派が代表質問を行いました。各会派代表議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)



市長施政方針演説 (YouTube)

※詳細は、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

答 市街地の浸水リスクをゼロにすることは

豪雨への浸水対策は大丈夫ですか。

問 昨年、台風19号によるゲリラ豪雨で東日本は甚大な被害を受けましたが、半田市のゲリラ豪雨への浸水対策は大丈夫ですか。

戦っていますか。

答 半田市内では、木質バイオマス発電所が2か所稼働し、令和3年にはメタン発酵バイオガス発電所が稼働予定です。

バイオマス産業都市という地域特性を活かし、市民や市内事業者の皆様とともに、目標の実現に挑戦していきます。

問 地球温暖化対策として、2050年までにCO2排出量を実質ゼロの目標を掲げられましたが、どのように取り組んでいきますか。

答 トヨタエンタプライズに変更となり、全スタツプが館内ガイドを行えるよう、おもてなし体制の強化、オリジナル商品開発、カフェの営業時間の拡大、同社が管理する施設と、ものづくりの視点での事業連携を図り集客を促進する他、トヨタ流カイズン・マインドを取り入れた運営を予定しています。

問 ストップモーションアニメ「ごん」を活用して半田市への愛着を深める取り組みについてお尋ねします。

答 南吉文学の新たな魅力を再発見し、ふる里への愛着を深めていただくには最適な素材ですので、空の科学館・新美南吉記念館・観光課が連携し、多くの方にご覧いただくようにしていきます。



公明党 山本半治

問 新型コロナウイルス感染症に対する予防対策の周知はどのようになっていますか。

答 ホームページの緊急情報、閲覧板の全戸回覧、公共施設へのポスター掲示、小中学校、幼稚園・保育園、障がい者・高齢者施設へのチラシ配布を行っています。

問 半田赤レンガ建物の魅力を高めるために、新たな指定管理者がどのような事業計画を予定していますか。

答 トヨタエンタプライズに変更となり、全スタツプが館内ガイドを行えるよう、おもてなし体制の強化、オリジナル商品開発、カフェの営業時間の拡大、同社が管理する施設と、ものづくりの視点での事業連携を図り集客を促進する他、トヨタ流カイズン・マインドを取り入れた運営を予定しています。

できませんが、排水ポンプ場の稼働水位の見直しや、更新時に排水能力の優れたポンプを採用したり、ため池改修で排水の貯留能力を高めるなど、総合的な排水対策を行っていきます。

できせんが、排水ポンプ場の稼働水位の見直しや、更新時に排水能力の優れたポンプを採用したり、ため池改修で排水の貯留能力を高めるなど、総合的な排水対策を行っていきます。

問 施政方針では「チャレンジを続けること」が明るいまちづくりにつながる唯一の方法」と結論づけていますが、どのような理由がありますか。

答 今日の半田市に至る過程においては、先人たちが努力と情熱をもって、常に果敢にチャレンジし続けてきた歴史があります。人口減少を始めとする社会情勢がめまぐるしく変化する中にあるのは、現状維持や今のやり方を変えずに減らすだけといった単なる縮小の理論に陥らないことが重要であり、本市に根付く歴史や精神性を継承しつつ、本市の長所をさらに活かし、変革を起さそうというチャレンジマインドと行動によって新たな価値を生み出していくことが求められると認識し、施政の方針として取り上げたものです。

問 チャレンジには失敗がつきものですが、我々はそのような職員の姿をあまり見ていません。チャレンジをするには、なかなか部下を上司が

答 ご指摘の通りだと思います。チャレンジするようには言っていますが、そのような風土が醸成されていないことも認識しています。部長を含め徹底していきたいと思

問 新病院の経営統合については、場合によっては解消もありますか。

答 財務の健全性については、それを支える役割が重要であり、合意書で定めた両市の責務でありま。病院の財務状況シミュレーションの結果、いずれかの病院に債務超過、資金不足などが見込まれ、その病院の設置市で支えることができなければ、統合相手の市民が過度な負担を強いられることになりま。これは合意書の解除事項にある不測の事態にあたり、経営統合の解消もやむを得ない事態に該当すると考えています。これまでの協議結果を踏まえ、市民の皆様にも納得していただけるよう、結論を導き出していきます。



創造みらい半田 久世孝宏

問 施政方針では「チャレンジを続けること」が明るいまちづくりにつながる唯一の方法」と結論づけていますが、どのような理由がありますか。

答 今日の半田市に至る過程においては、先人たちが努力と情熱をもって、常に果敢にチャレンジし続けてきた歴史があります。人口減少を始めとする社会情勢がめまぐるしく変化する中にあるのは、現状維持や今のやり方を変えずに減らすだけといった単なる縮小の理論に陥らないことが重要であり、本市に根付く歴史や精神性を継承しつつ、本市の長所をさらに活かし、変革を起さそうというチャレンジマインドと行動によって新たな価値を生み出していくことが求められると認識し、施政の方針として取り上げたものです。

問 チャレンジには失敗がつきものですが、我々はそのような職員の姿をあまり見ていません。チャレンジをするには、なかなか部下を上司が

答 ご指摘の通りだと思います。チャレンジするようには言っていますが、そのような風土が醸成されていないことも認識しています。部長を含め徹底していきたいと思

問 新病院の経営統合については、場合によっては解消もありますか。

答 財務の健全性については、それを支える役割が重要であり、合意書で定めた両市の責務でありま。病院の財務状況シミュレーションの結果、いずれかの病院に債務超過、資金不足などが見込まれ、その病院の設置市で支えることができなければ、統合相手の市民が過度な負担を強いられることになりま。これは合意書の解除事項にある不測の事態にあたり、経営統合の解消もやむを得ない事態に該当すると考えています。これまでの協議結果を踏まえ、市民の皆様にも納得していただけるよう、結論を導き出していきます。

市政を問う 代表質問 (質問議員が執筆しています)